

KODAIRA INTERNATIONAL FRIENDSHIP ASSOCIATION NEWS

URL <http://www.kifa-tokyo.jp/> E-mail info@kifa-tokyo.jp

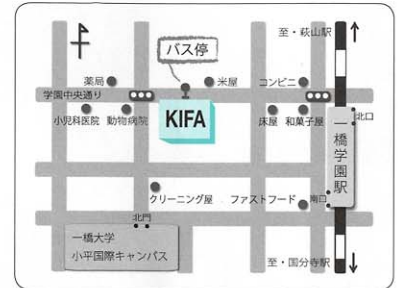


2012

No.67

CONTENTS

- P.1：こだいら国際交流フェスティバル
- P.2：KIFA 写真館、世界の料理“カンボジア”、台湾ティーパーティ
- P.3：インタビュー“バングラデシュ人民共和国”、国際こどもクラブ“フランス共和国”
- P.4：外国人登録制度変更説明会、新規ボランティア説明会、他



こだいら国際交流フェスティバル

7月15日(日)

昨年まで学園西町地域センターで開催していたフェスティバルは、今年は小平市福祉会館と市民ひろばで大規模な開催となりました。

この日は汗がふきだすほど暑い中、会場は大にぎわい。野外ステージは、小平市ならではの音楽や踊りにアンデスの癒しの音楽など、いろどりに豊か。屋台では、いろいろな国の香ばしいかおりに誘われたお客さんが行き交っていました。会館内ではメインイベントとして、国際母国デーフェスが

なわれました。国際母語デーの説明やクイズに、各国の紹介や民族衣装のファッションショーなどがありました。体験コーナーではフェイスペインティングや茶道・華道の他に、今年は外国語武者修行や台湾茶・篆刻などの新しいコーナーが加わりました。みなさん思い思いに楽しんでいました。

もっと時間が欲しい！！もりだくさんなフェスティバルでした。

～国際交流フェスティバル写真館～



世界の料理 “カンボジア”

6月15日(金)

申込み多数で抽選になった今回のカンボジア料理、先生はプノンペン出身で一橋大学院生のチア・ポーレンさんです。メニューは「牛肉のニンニク炒め」「海老サラダ」「鶏のとろみスープ」「カボチャプリン」とのこと。さて、どんな料理なのでしょうか？

まずはカボチャプリンから調理です。丸ごとのカボチャをくり抜いてプリン液を入れて蒸すものですが、固いカボチャに包丁を入れるのが大変です。鶏のスープと海老サラダはレモングラスなどの香草やナンプラーを使います。先生の説明にみなさん興味津々です。そして牛肉のニンニク炒め。作り方は中華のようですが、食べる時にニンニクとレモン汁のソースをかけます。蒸しあがったカボチャプリンを切り分けたら、

さあお楽しみの試食です！

さてそのお味は？料理には唐辛子が入っていますが辛くなく（日本人向けにマイルドだったそうです）、香草が効いてさわやか。カボチャプリンは甘さ控えめのココナッツ風味で食べやすくとても美味しかったという感想が多かったです。食後は先生にアンコールワット遺跡などの話をしていただき、楽しいひと時を過ごしました。



鶏のスープに香草を入れるチア先生

台湾ティーパーティ

6月16日(土)

台湾では毎月最低一回はお茶会をする習慣があって、大切なコミュニケーションの場になっているのだそうです。職場の仲間、近所の人たち、親戚、家族など、中でも小さな子どもが両親やおじいちゃんおばあちゃんにお茶を入れてあげることは家族間の楽しみのひとつになっているとのこと。日本にも茶道という素晴らしい文化がありますが、日常に浸透してみんなで楽しむという点は台湾茶の大きな魅力ですね。

みんなで香りを楽しんだり、1煎目、2煎目…うまくいけば9煎目まで入れる度が変わっていくお茶を味わいながら、音楽を聴き、おしゃべりの花が咲くようです。使い込むほどに味わいが出るマイカップを永く使うという点も、物を大切にする文化が感じられますね。

そんな台湾茶会を知っていただくため、このティーパーティが開かれました。

KIFAの台湾茶は人気講座でリピーターも多いのですが、今回のティーパーティにはお母さんと一緒に小学5年生の女の子が初参加してくれました。最初はお茶の香りに素直に驚いたり、先輩たちのいれるお茶に見入っていましたが、最後は堂々と茶通人（お茶をいれる人）をこなし、和やかな暖かい雰囲気となりました。



インタビュー “バングラデシュ人民共和国”

今回の外国人インタビューに登場するのは、バングラデシュの首都ダッカ出身のカン・MD・アンワルス・サラムさんです。現在、電気通信大学大学院で博士課程在学中です。

●カンさんは何を勉強していますか？

僕はバングラデシュの大学でコンピュータ技術と英語を専攻していました。言語にとっても興味があって、翻訳システムの技術が進んでいる日本に留学することにしました。技術によって言葉の壁がなくなれば世界中の人達の交流がもっと便利になると思い、僕は今、コンピュータによる自動翻訳を研究しています。

●ご家族とお国のことを紹介していただけませんか？

両親と兄弟5人の家族構成で僕は4番目です。兄も電通大学の留学生でした。父は政府の銀行に勤めていました。母は



バングラデシュの意味はベンガル語で「ベンガル人の国」

教師です。バングラデシュは40年前の独立戦争を経てやっと解放されたのですが、発展が遅いところがあります。例えば義務教育は小学校5年までですが、貧しい家庭の子どもたちは小学校ですら行けません。これから改善していけたら

いいと思っています。バングラデシュの国民はとてもフレンドリーで人なつこいことから、知らない人でもすぐに友達になります。

●バングラデシュの食事は？

魚が入ったカレーが多いですね。朝食はパンや「ジャパティー」(小さめのナン)に野菜の料理をよく食べます。僕の好きな食べ物はマンゴーとイリシュという白身の魚で、バングラデシュの代表的な川魚です。



●バングラデシュでの楽しみを教えてくださいませんか？

まずは3大世界遺産がお勧めです。文化遺産のバゲルハットのモスク都市、パハルプールの仏教寺院遺跡群と自然遺産のシュンドルボンです。4月14日の「ベンガル新年」と2月21日の「国際母語デー」は最も重要な国民的な行事です。その中でも、母語や自国の伝統に尊敬と誇りを持つ「国際母語デー」を僕たちはとても大事にしています。

●最後に日本の感想を教えてください。

日本人は皆親切で、やさしいです。特に不満なところはないですが、バングラデシュとの直行便がないため、いつも日本→上海→昆明→バングラデシュという経由で帰らなきゃならないのが不便です。

国際子どもクラブ “フランス共和国”

6月9日(土)

今回の異文化理解講座は、フランスです。フランスと言えば、知ってるようで案外知らない国。実はワクワクしながらお邪魔しました。講師は明治大学で政治学を勉強している3年生のローリ・ジェゼケルさんです。

フランスの北と南では気候、文化、食べ物などが大きく異なり、関東と関西のような違いがあるそうです。フランスには国の標語『自由・平等・友愛』があり、フランス革命が起源で、国旗の三色旗は「自由(青)・平等(白)・友愛(赤)」を表しています。またその革命の時に、南のマルセイユからパリまで行進したときに歌った曲「ラ・マルセイエーズ」が国歌となった事など教えていただきました。

首都は華の都パリ。パリといえばやはりエッフェル塔ですが、324メートルで東京タワーの方が9メートル高いそうです。そしてフランスパン。パン屋さんでは90種類ものパンが売られているとか。さすが、バケッとヤクロワッサンの発祥地、美食の国ですね。

そしてローリさんの故郷、フランス北西部のブルターニュのお話も聞きました。この地方はブルターニュ公国という独立国だったのが、16世紀にフランスに併合されました。ケ

ルト人が多く住んでいて、今も独特の文化・風土があるようです。

さて後半は、「ベレー」というゲームです。2チームに分かれてベレー帽に見立てたふにゃふにゃボールを取り合うもので、いよいよ子どもパワー全開です。外は梅雨寒なのに、部屋の中は熱気で汗ばむほどです。そのうち子どもたちで、好きなルールに変えてみたりで・・・



ベレーという遊びに熱中!!

ひとしきり遊んだ後は、ローリさんの故郷の味、クレープ(ローリさんのお手製)の登場です。お腹のすいた子どもたちは、思わずにっこり。大人もにっこり。日本でもおなじみのクレープですが、それはやっぱりおいしくて、とてもメルシー!なフランス講座でありました。

外国人登録制度変更説明会

4月15日(日)、22日(日)、28日(土)

2012年7月9日から新しい在留管理制度がスタートすることに伴い、日本に3カ月以上滞在する中長期在留外国人対象者へ、その内容の詳細を理解していただく目的で説明会を開きました。

新しい制度では住民基本台帳に外国人も含まれることとなり、日本人と同様に住民票に登録されることになりました。3日間とも小平市市民課外国人登録の担当者、また一部は行政書士の方からも説明がされました。

新しい在留管理制度のポイントである在留カードの交付、在留期間の最長5年化、みなし再入国許可制度の導入、外国人登録制度の廃止などについて制度変更の趣旨や変更点が詳細に説明されました。

参加者の外国人は熱心に説明を聞き、不明な点は積極的に尋ねていました。制度の改正内容の資料を日本語、英語、中国語、ハングルで準備しました。さらに外国語でのサポート体制をとったこともあり、参加者には十分にその内容が理解出来たと思われます。

KIFAでは引き続き相談会や相談窓口の紹介など、該当機関や行政と連携しながら今後とも在留外国人をサポートしていきます。



4月28日(土)中央公民館

これからの行事予定

- ◎外国人のための防災訓練<立川防災館見学> 8月10日(金)
- ◎講演会「やさしい日本語」 9月
- ◎台湾茶入門講座(全7回) 9月1日(土)～10月27日(土)
- ◎国際こどもクラブ(後期) 9月～11月土曜日(8回)
- ◎留学生スタンプラリー 10月初旬
- ◎市民スポーツまつり参加 10月7日(日)
- ◎市民まつりパレード参加<民族衣装> 10月21日(日)
- ◎世界の料理第2回 11月
- ◎秋のバスハイク<外国人対象> 11月
- ◎外国人のための茶道入門(全5回) 11月～12月
- ◎篆刻入門講座(全7回) 11月～12月
- ◎国際交流芸術展 12月18日(火)～12月23日(日)

新規登録ボランティア説明会

6月16日(土)

中央公民館で「新規登録ボランティア説明会」を開きました。これはボランティア登録をした方々に協会の活動を紹介するものです。今回は7月15日の「こだいら国際交流フェスティバル」について説明し、参加者の希望を聞いて役割分担をしました。

今後もこのような会を設け、ボランティアの募集に取り組んでいきます。



平成23年度収支決算 (平成23年4月1日～平成24年3月31日まで)

○収入の部

(単位：円)

| 科目 | 予算額 |
|-------------|------------|
| 賛助会費収入 | 1,185,000 |
| 補助金収入(市補助金) | 13,872,000 |
| 寄附金収入 | 1,000 |
| 積立金繰入 | 750,000 |
| 事業収入 | 5,789,479 |
| 雑収入(預金利息等) | 62,550 |
| 前期繰越収支差額 | 674,533 |
| 収入合計 | 22,334,562 |

○支出の部

(単位：円)

| 科目 | 予算額 |
|--------------------------|------------|
| 事業費 | 8,432,360 |
| 国際理解国際親善の普及事業 | 4,995,265 |
| 地域における友好交流事業 | 1,128,580 |
| 地域や日本文化並びに外国都市や外国文化の紹介事業 | 266,110 |
| 国際交流情報の収集及び地域への情報提供事業 | 1,663,265 |
| その他協会目的達成事業 | 379,140 |
| 管理費(管理運営費) | 13,478,024 |
| 支出合計 | 21,910,384 |

◎平成24年度賛助会費納入について

平成24年度の賛助会費の納入についてご協力をお願いしておりましたが、6月末時点で792,000円の納入がありました。ご協力ありがとうございました。

編 集 後 記

「こだいら国際交流フェスティバル」が15年振りに会場を移し、大勢の人出で盛り上がり「国際交流の輪」がより広がりました。参加した外国人をまた街で見かけたら、すすんで声をかけたい気分になりました。ニーハオ！アンニョンハシムニャ！ハロー！・・・(Y.Y)

発行日 平成24年8月1日
発行 小平市国際交流協会
編集 機関紙グループ

〒187-0045
小平市学園西町2-12-22 学園西町地域センター3階
TEL. 042-342-4488 FAX. 042-347-3003